



未経験でもレベル 3 まで短期間に合格した秘訣、学生の目線からみた必要なこととは？

CASE STUDY

| | |
|-----|--|
| 学校名 | 東京デザインテクノロジーセンター専門学校 |
| 所在地 | 東京都新宿区高田馬場2-11-10 |
| URL | https://www.tech.ac.jp/ |
| コース | ゲーム・VR・IT・AI・ロボット・Web・3DCG・アニメ・イラストなど「コンピュータを使って『創造力』を仕事にする」ための幅広いコースをラインナップ |
| 生徒数 | 794名 |



コンピュータに出会うタイミングは人それぞれだ。ゲームからコンピュータに興味を持った人もいるだろうし学校で初めて触ったコンピュータがきっかけという人も多くいるだろう。今回は業務として Linux を使うという立場とは違う学生の立場からみた LPIC についてインタビューする機会を得た。

都内のコンピュータ専門学校である東京デザインテクノロジーセンター専門学校で学ぶ学生に対面でインタビューを行い、コンピュータとの馴れ初め、Linux の資格試験である LPIC に挑戦した経緯、これからの夢などを語ってもらった。インタビューに答えたのは東京デザインテクノロジーセンター専門学校でスーパー IT 科、スーパー AI クリエイター専攻 3 年に在籍する筒井 隆太さんだ。



スーパー IT 科、スーパー AI クリエイター専攻 3 年筒井さん(右)と教務部の阿部先生(左)

コンピュータを初めて触ったのはいつ頃ですか？

小学生の頃に親が使っていたパーソナルコンピュータを借りて CD から曲を取り込むという作

業をしたのが最初ですね。その時に「これ、楽しいな」という感想を持ったのを覚えています。

それからプログラミングやコンピュータそのものについて経験は？

特にやっていないです。中高生の時はブラウザで Web サイトをみるくらいしかやっていなかったです。高校を卒業して大学受験に失敗して 1 年間、予備校に通っていたんですが、その頃にコンピュータにちょっと興味が湧いてきて。それで情報系の専門学校を探していた時に今の学校を見つけて体験入学も良かったので入学したという感じです。

事前知識や経験無しでコンピュータを学ぼうと思ったわけですね。コンピュータに対する印象は？

自分には合っていると思いました。実際に使ってみるとそれほど失敗したとか困ったこともありませんし。プログラミングは楽しいですね。あんまり大きなシステムに関わっていないということもあるかもしれませんが、デバッグも苦ではないですね。

コンピュータシステムには色々分野がありますが、興味を持ったのはどんな部分ですか？

専攻は AI なので Python でデータ分析のようなことをやっていますが、個人的に今はセ

キュリティに興味があります。考え方が面白いなと思っていてコンピュータの裏側に入り込んでその仕組みを理解する、普通とは違う使い方をする、ってあるじゃないですか。それがとっても面白いというか。そういうことをやるのがセキュリティなのかと感じて、それからセキュリティをやってみたいと思うようになったんです。

それはいわゆるハッキング、つまりハッカーがコンピュータに侵入するみたいなイメージですか？

そうかもしれません。セキュリティに興味が出てきて色々調べて行くと体系的に理解しないといけないんだなと思い始めて、その中で Linux っていうキーワードが出てくるので調べていくと、色々なところで使われているということが分かったんです。それで Linux を使えるようになるためには何が良いかを調べて LPIC に行きついたんです。





実際にセキュリティの専門家にはハッカーの能力が必要だと言われますね。つまり攻撃をする側と同じ知識と経験がないと守ることはできないという意味で。

そうですね。

話を戻しますと、システムを体系的に理解するための方法が LPIC だったわけですね。

そうです。Linux を選んだのは汎用的に使われているオペレーティングシステムだからですね。

実際には企業内には Windows をベースにした Windows サーバーが多数動いていますか？

Windows にもサーバーがあるんですね。知りませんでした。

セキュリティ以外にやりたいことはありますか？

アプリケーションの開発にも興味があります。実際にユーザーが触れる部分を開発するのはやってみたいです。Web の開発はそれほど面白いとは思いませんでした。プログラミングは学校では Python をやっていますが、他にも C 言語も初歩的な部分は勉強しているという感じです。データベースにも興味はありますが、まだ実際には始まっていないのでこれからですね。

Linux の勉強は独学ですか？

そうです。今、3 年生なんですけど、2 年目の 6 月に大体 1 ヶ月ぐらい教則本などで勉強してからレベル 1 の試験を受けて合格しました。その数か月後にレベル 2 にも合格しました。レベル 3 も最近、合格したんですが、一度は失敗して 2 度目で合格しました。レベル 3 になると教則本にはない部分も出てくるのでその部分については最初はお手上げという感じでした。でも Web で調べて足りない部分を

補いました。試験勉強はそれほど得意なほうじゃないんですが、LPIC については上手く行ったんじゃないかなと思います。LPIC 以外にもネットワークに関しては CCNA という資格試験がありますけど、CCNA は試験料が高いんですね。

CISCO の CCNA が高いのには意味があるんですが、LPIC と比べたら高いのは事実ですね。後輩が LPIC を取ろうとして相談に来たらどうやってアドバイスしますか？

まずどうしてその資格を取ろうと思ったのか、目指しているのは何なのか、をちゃんと聞くようにしますね。その上でアドバイスすると思います。私の場合は体系的に Linux を理解したいというのが目的だったんですが、人によってはそうじゃない場合もあると思うんです。なので何を目的にしているのかを知らないとアドバイスは出来ないかなと思います。



試験勉強をするに当たって「こういう物があればもっと良かった」みたいなものはありますか？

試験勉強をするのに実際に Linux を触ってみることができるラボがあるのもっと理解が深くなると思います。どうしても順番に本に書いてあることを覚えていっただけでは理解できないこともあります。私の場合、環境設定の辺りに時間が掛かってしまったので。他には試験で覚えたことを実際に使ってみることができる仕事が欲しいです。覚えた技術を実際に使ってみるという意味で仕事としてやれると良いんじゃないかなと思います。

それはインターン的な仕事、という意味ですか？

そうです。私がやりたいと思ってるセキュリティについても実際にどんな仕事なのかは良く分かっていないんですよ。なのでインターンとして仕事をする中でどんなことが必要なのか、何を学べば良いのかが分かってくるんじゃないかなと思います。そういう実践の場が欲しいですね。

実際にこの学校を卒業してセキュリティの仕事をしている先輩はいるんですか？

今はまだいないんじゃないでしょうか。

筒井さんがセキュリティのエンジニアになればバイオニアになりますね。

そうなれるように頑張ります。

将来の社会やシステムについて「こうなってくれたら」というような希望はありますか？

色々な人がいてそれぞれやりたいことをやっていると思うんですが、どうしても他人から干渉されちゃうことが多いと感じていて、私は好きなことをやっても人に干渉されたくないんです。そういう世の中になれば良いなと思いますね。



未経験でも短い試験勉強の期間を上手く使って LPIC のレベル 3 まで合格したという筒井さんが、実際に手を動かして触ってみたい、具体的な仕事の内容を知りたいというのは実際に会社に入って業務に参加する前のエンジニアにとっては切実な思いだろう。学びながら実務を経験するという手法が日本の IT 業界においても実践されることを願いたい。